

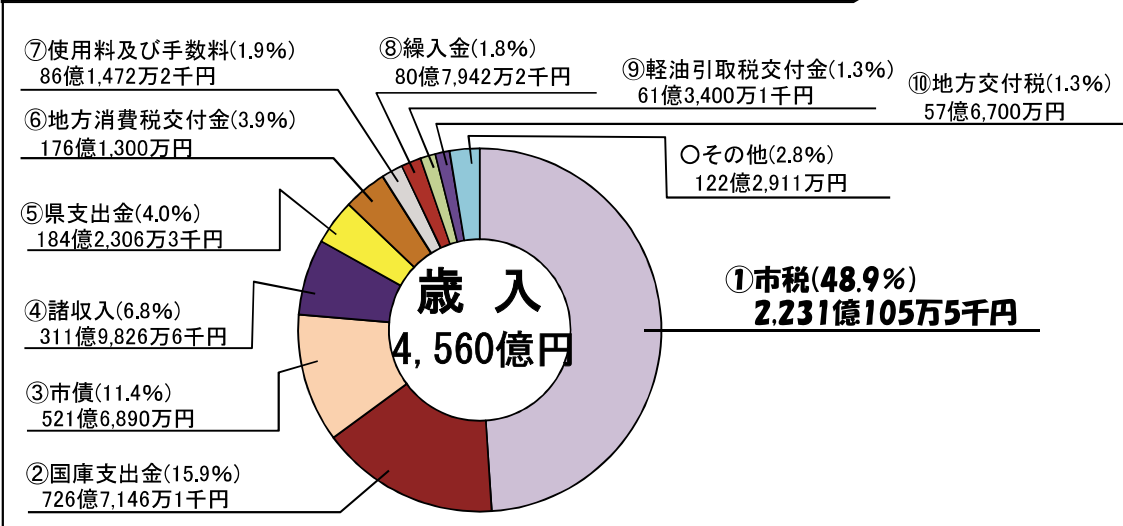
財政局 平成27年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

年末の内閣府の月例経済報告によると、「景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」更に「先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。」と示されており、地方財政は依然として厳しい状況が予想されています。

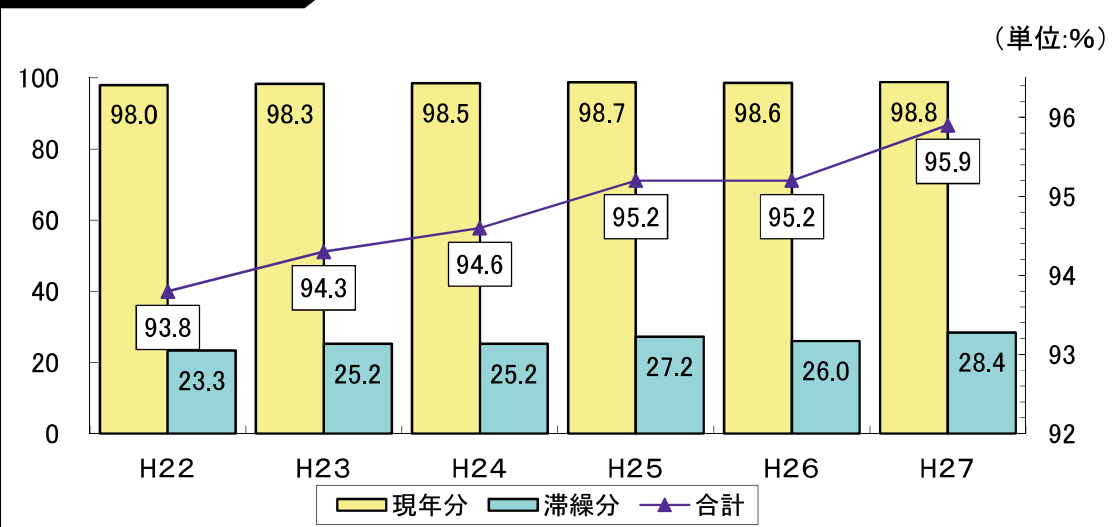
(1) 健全な財政運営を維持するためには、歳入予算の大きなウェイトを占める市税収入の確保が強く求められています。

平成27年度さいたま市一般会計予算における歳入予算の内訳



(2) 税負担の公平性確保の観点から、一層の収納対策の推進を図ることで、市税の収入未済額圧縮及び収納率向上を目指します。

市税収納率の推移



※平成25年度以前は決算。平成26年度以降は当初予算。

2. 基本方針・区分別主要事業

税金の大幅な増が見込めない状況下において、予算や契約、税務など管理事務のより一層の効率化・適正化を図ることにより、限りある財源を有効かつ効果的に活用して事務執行を行います。

(1) 自販機設置業者の公募を推進することで、貸付料収入の拡大を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
1	行	自販機設置業者の公募事業 〔資産活用課〕	111,708 (111,708)	80,080 (80,080)	平成27年度の公募による新規設置予定を40台とし、全庁における貸付料収入を拡大
			歳入		

(2) 本市との契約を希望する業者を対象に入札参加資格の申請受付・審査を行い、資格を有する者を登録名簿に登載し、適正かつ公正な契約事務の遂行を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
2		業者登録管理事業 〔契約課〕	26,402 (21,900)	26,982 (13,539)	適正かつ公正な契約事務を遂行するため、本市との契約を希望する業者を対象に、入札参加資格の申請受付・審査を行い、資格を有する者を登録名簿に登載

(3) 地方税の電子化を推進します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
3		地方税ポータルシステム(eLTAX)管理運用事業 〔税制課〕	25,007 (6,210)	23,735 (5,494)	地方税に関する各種手続きについて、自宅やオフィスにいながらインターネットを利用して電子的に行うことができるシステムの管理・運用

(4) 納税者の利便性向上と累積滞納の未然防止を図ることで、収納率向上を目指します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	27年度	26年度	説明
4		口座振替加入促進事業 〔収納調査課〕	628 (628)	4,060 (4,060)	市税・国保税の口座振替申込手續について、金融機関のキャッシュカードを利用する「ペイジー口座振替受付サービス」の運用を開始

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画後期基本計画実施計画事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業
成…成長戦略事業 行…行財政改革推進プラン2013事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
市民税課	特別徴収一斉指定事業に係る通知書送付対象事業者の見直し	特別徴収一斉指定に係る通知書送付対象事業者を全事業者から一斉指定の対象となる事業者に限定することにより、予算額を縮小する。	△ 5,939